

東京女子医科大学附属東洋医学研究所業績

所長教授	代田文彦(～H14. 11)
副所長助教授	佐藤弘
助手	新井信
	川越宏文
	班目健夫
	張民浩(～H14. 6)
	新桂一(～H14. 5)
	久米由美(～H14. 1)
	飯山和郎(H14. 7～)
	木村容子(H14. 7～)
鍼灸師主任	吉川信
鍼灸師	蛭子慶三
	酒井さや香
	細江久実子
	山崎英輝(H14. 6～)
兼任教授	田中朱美
	宮崎俊一
	高桑雄一
非常勤講師	関直樹
	向井治文
	本城美智恵
	盛岡頼子
	小林智津子
	久米由美(H14. 2～)

◇診療活動

当研究所は、開所して10年目を経過した。湯液部門は診察室7室(患者数は、平均180人/日)、鍼灸部門(東京女子医科大学附属NS鍼灸室)は、診察室は12室(患者数 平均23人/日)にて、外来診療を行っている。

機関としての諸活動

【教育】

当研究所は、本年度も東京女子医科大学学生、医師、コメディカルを対象に教育活動を行ってきた。本学学生に対する教育は、本学4年生に対しての講義10単位(1単位90分)と診察法・鍼灸治療体験・生薬に関する実習を120分行った。コメディカルに対しては本学の看護大学内にある科目等履修生に対して13単位(1単位90分)の講義を行った。

【研究】

当研究所スタッフがそれぞれのテーマを抱えて研究を行っている。代田・蛭子は『顔面神経麻痺

の鍼灸治療』、佐藤・班目は『慢性肝疾患に対する漢方治療』、新井・佐藤は『加速度脈波計を用いた漢方薬の抗動脈硬化作用の臨床的検討』、吉川は『鍼灸刺激が生体免疫に及ぼす影響』、田中・班目・川越は『慢性疲労症候群に対する漢方治療』を研究し、これまで東洋医学会等で既に少しずつ研究成果を報告した。

昨年からの移動開始した臨床研究をサポートするためのコンピューターシステムを用い、現在多くの患者データを蓄積中である。今後このシステムのデータを用いた研究報告を行う予定である。また早稲田大学人間科学部、昭和薬科大学等と共同に行う長野県長谷村でのフィールド研究も本年度から始動した。

◇著書

- 1) 代田文彦, その他分担執筆(社団法人日本東洋医学会 学術教育委員会編集): 入門漢方医学, 鍼灸1. 総論, 258～264, 2002
- 2) 新井信, その他分担執筆(社団法人日本東洋医学会 学術教育委員会編集): 入門漢方医学, 薬物学①副作用, 126～130, 2002
- 3) 佐藤弘: その他分担執筆(熊田博光監修), インターフェロン難治例に対する漢方療法, C型慢性肝炎の治療最前線—最近の治験と治療—, 214～220, 2002
- 4) 佐藤弘, その他分担執筆(堀口明男編集): 漢方治療の特徴と処方箋選択の目安, 名医と治す漢方辞典, 12～30, 2002
- 5) 班目建夫, その他分担執筆(堀口明男編集): C型慢性肝炎, 名医と治す漢方辞典, 62～65, 2002

◇学術論文

- 1) 代田文彦: Kampo Use: For Maximum Effectiveness, North American Journal of Oriental Medicine, 9(24), 13～17, 2002
- 2) 代田文彦: Kampo use: For Maximam Effectiveness, North American Journal of Oriental Medicine, 9(25), 3～5, 2002
- 3) 代田文彦: A Clinical Guide to Kampo(4), North American journal of Oriental Medicine, 9(26), 4～7, 2002
- 4) 代田文彦: 学生時代に感銘を受けた本—正法眼蔵随聞記—, 医道の日本社, (698), 231～235, 2002

- 5) 代田文彦：医道の日本と私—700号発刊に寄せて—，医道の日本社，(700)，2～7，2002
- 6) 佐藤 弘：在宅医療に漢方の効用を見直す自覚症状と五感による把握が基本，Home Care MEDICINE，3(4)，13～15，2002
- 7) 佐藤 弘：大学での漢方医学卒前教育の実際—東京女子医科大学の試み—，漢方と最新治療，11(3)，241～245，2002
- 8) 新井 信：Immunohistochemical Analysis of the Expression and Distribution of Inducible Nitric Oxide Synthase and Nitrotyrosine in Ulcerative Colitis，東京女子医科大学雑誌，72(9)，437～447，2002

◇学会発表

- 1) 佐藤 弘：消化器症状に対する漢方医学的アプローチ，第38回日本東洋心身医学研究会，2002. 2
- 2) 新井 信，佐藤 弘，代田文彦：過敏性腸症候群について（シンポジウム），第53回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
- 3) 新井 信，佐藤 弘，代田文彦：八味地黄丸での検討（シンポジウム），第53回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
- 4) 川越宏文，川嶋 朗，班目健夫，新井 信，盛岡頼子，佐藤 弘，代田文彦：漢方治療中に遭遇した予期しない徴候と症状110例，第53回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
- 5) 川越宏文，赤真秀人，川嶋 朗，田中朱美，佐藤 弘，代田文彦：慢性疲労症候群の治療経験—失眠灸の検討，第53回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
- 6) 張 民浩，佐藤 弘，代田文彦：BCG膀胱内注入後の膀胱刺激症状に当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった2症例，第53回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
- 7) 吉川 信，細江久実子，代田文彦：鍼灸刺激が生体免疫能に及ぼす影響について，第53回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
- 8) 酒井さや香，吉川 信，蛭子慶三，細江久実子，佐藤 弘，代田文彦：汎発性強皮症に対する鍼灸治療の試み，第53回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
- 9) 蛭子慶三，酒井さや香，吉川 信，佐藤 弘，代田文彦：顔面神経麻痺の鍼治療時における後遺症の出現状況について，第53回日本東洋医学会学術総会，名古屋，2002. 6
- 1) 代田文彦：親父の追憶，漢方の臨床，49(6)，89～101，2002
- 2) 代田文彦：他大学へ転出された教授からの投稿一寸楮—，松医会報，72，9～10，2002
- 3) 佐藤 弘：胃もたれ・食欲不振，きょうの健康，174，82～85，2002
- 4) 佐藤 弘：便秘が続くとき，きょうの健康，174，86～89，2002
- 5) 佐藤 弘：糖尿病患者に見られる愁訴の漢方療法，ドクターサロン，46(6)，20～23，2002
- 6) 関 直樹：腰の痛み，きょうの健康，174，90～93，2002
- 7) 関 直樹：膝の痛み，きょうの健康，174，94～97，2002
- 8) 川越宏文：冷え，週刊朝日漢方，107(15)，44～45，2002
- 9) 班目健夫：がんばれ！サラリーマン慢性疲労症候群，夕刊フジ，2002
- 10) 新井 信，大野修嗣，金子明代：こうすれば漢方で劇的効果も，週刊朝日漢方，107(15)，26～31，2002
- 11) 新井 信，盛岡頼子，溝部宏毅：駆瘀血剤を応用した3症例（女子医大雑話103），漢方の臨床，49(4)，13～20，2002
- 12) 新井 信，盛岡頼子，溝部宏毅：漢方薬の思わぬ薬効が得られた3症例（女子医大雑話106），漢方の臨床，49(7)，42～48，2002
- 13) 新井 信：第53回日本東洋医学会 桂枝加芍薬湯—臨床病型にかかわらずIBSの第一選択薬，Medical Tribune，35(26)，12，2002
- 14) 新井 信，盛岡頼子，溝部宏毅：最近経験した3症例（女子医大雑話109），漢方の臨床，49(10)，30～36，2002
- 15) 木村容子：漢方の力で肌荒れを防ぐ～体の中から美肌スキンケア，NSビル新聞チックタック，74，2002
- 16) 木村容子：働く女性のストレスケア，日本経済新聞，2002
- 17) 木村容子，佐藤 弘：小柴胡湯の副作用，相互作用，漢方と最新治療，11(4)，341～346，2002
- 18) 盛岡頼子，新井 信，溝部宏毅：小児の熱に真武湯（女子医大雑話101），漢方の臨床，49(2)，52～54，2002
- 19) 盛岡頼子，新井 信，溝部宏毅：女性の2症例（女子医大雑話107），漢方の臨床，49(8)，56～59，2002
- 20) 盛岡頼子，新井 信，溝部宏毅：補中益気湯の2症例（女子医大雑話110），漢方の臨床，49(11)，92～95，2002

◇その他

- 21) 溝部宏毅, 盛岡頼子, 新井 信: 逆流性食道炎に六君子湯他 (女子医大雑話 102), 漢方の臨床, 49(3), 40~42, 2002
- 22) 溝部宏毅, 盛岡頼子, 新井 信: 皮膚疾患の4例ほか (女子医大雑話 105), 漢方の臨床, 49(6), 24~27, 2002
- 23) 溝部宏毅, 盛岡頼子, 新井 信: 高血圧に黄連解毒湯ほか (女子医大雑話 108), 漢方の臨床, 49(9), 36~38, 2002
- 24) 溝部宏毅, 盛岡頼子, 新井 信: 最近私の家で (女子医大雑話 111), 漢方の臨床, 49(12), 168~171, 2002
- 25) 久米由美: 女性医療と漢方一心身の QOL を高めるために一, 漢方医学, 126(4), 2~11, 2002